

2024年度創立記念日記念式典について

2024年12月12日

公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所は、2024年度創立記念日記念式典を下記の通り開催しましたので、お知らせいたします。

記

1. 開催日時：2024年12月10日(火) 9時30分から12時00分
2. 場所：国立研究所 講堂
3. 列席者：役職員（約450名）
4. 式次第：
 - (1) 会長式辞
 - (2) 理事長式辞
 - (3) 表彰等
 - 研究開発成果賞・業務成果賞
 - 研究開発成果褒賞・業務成果褒賞
 - 研究開発奨励賞
 - 表彰受賞者代表答辞
 - 永年勤続15年表彰（16名）
 - 永年勤続15年表彰受賞者代表答辞
 - 資格等取得者への記念品等贈呈
（博士号8名、技術士3名）
 - (4) 記念講演
「植物と元素 ―植物はこんなにも素晴らしい―」
東京大学名誉教授・特任教授、星薬科大学名誉教授・前学長、
福島国際研究教育機構監事 中西 友子 様

【向殿政男会長式辞 要約】

社会経済活動などほぼコロナ以前の状況に戻った一方で、社会をとりまく環境や、人々の価値観は急速に変容し、鉄道の置かれている環境も、今後に変化しつづけていくことが予想される。社会や環境が急激に変化する中、未来の社会は、「心、幸せ感、安心感」をもっと大事にするような価値観、ウェルビーイングが求められる社会になるのではないかと思う。

鉄道は、安全がトッププライオリティであるが、これからの安全の概念には、ウェルビーイングな状態を含む、前向きでポジティブな概念がより積極的に強調される領域に拡大されていくことが予測される。このように領域を拡大した安全を「ポジティブ安全」という言い方もしている。

鉄道においても、鉄道事業に関わる者が、身体に危害が及ばされることがなく、健康な状態が約束された環境で、健康的に、生きがい・やり甲斐をもって働けるようになること、そしてお客さまは、明るく楽しく、わくわくした気持ちで列車に乗って頂く、そのような「価値観」

が求められているのではないか。

ウェルビーイング、ポジティブ安全を重視する新しい時代、新しい価値観においても、鉄道総研が、社会をより良い方向に進め、豊かな社会の実現に貢献していく存在として、評価頂けるように、ポジティブにやりがいをもって業務にとりくめるよう、力を合わせて頑張っていこう。



会長式辞

【渡辺郁夫理事長式辞 要約】

本日、38回目の創立記念日を迎えることができた。関係の皆様のご理解とご支援、職員の尽力に改めて感謝申し上げます。

2024年度上期は研究開発事業など各事業を着実に推進するとともに、自然災害等に対する調査や支援を行い、JR各社をはじめ鉄道事業者からの負託に全力で応えてきた。鉄道総研技術フォーラムも5年ぶりに開催できた。

2024年度は、「基本計画RESEARCH 2025」の最終年度で、各事業の目標を達成できるよう、力をあわせて取り組んでいく。

2025年度初からは、新たな5年間の基本計画をスタートさせる。安全・安心かつスマートで環境にやさしく、持続可能な未来の鉄道システムの創造を目指し、各事業を引き続き推進する。活力ある職場づくりや環境整備などにも取り組む。

「革新的な技術を創出し、鉄道の発展と豊かな社会の実現に貢献します」というビジョンは変わらず、職員一人ひとりが、日本の鉄道の未来を切り拓くという高い志を持って果敢に挑戦を続けるとともに、力を合わせて気持ち新たに取り組んでいこう。

何事にも前向きに、明るく取り組んで欲しい。日本の鉄道が持続可能性を模索、追求する中、我々の果たすべき役割は重要であり、期待は一層高まっています。皆で力を合わせて、元気に各事業に取り組んでいくことを期待する。



理事長式辞

【2024年度所内表彰】

表彰件名と受賞者は別紙に記載。

【2024 年度所内表彰 表彰件名および受賞者】

□研究開発成果賞

「列車前方画像活用のための画像解析コア技術」
長峯 望、合田 航、前田 梨帆、
向嶋 宏記

「逸脱までを考慮した編成車両の地震挙動解析手法」
後藤 恵一、飯田 浩平、徳永 宗正

「高速走行に対応した次世代振子制御システム」
風戸 昭人、真木 康隆、遠藤 広晴、
中川 千鶴



表彰式

□業務成果賞

「大規模地震時の新幹線車両挙動に関する評価・対策」
大規模地震時の新幹線車両挙動評価・対策グループ 20名
坂井 公俊、浦越 拓野、石毛 真、中橋 順一、沖野 友洋、加藤 祐貴、
中田 裕喜、鈴木 瞭、坪川 洋友、弟子丸 将、飯田 浩平、葛田 理仁、
金元 啓幸、中嶋 大智、後藤 恵一、土井 達也、杉山 佑樹、和田 一範、
佐藤 裕之、名波 健吾

「GOA2.5 自動運転システム実用化への技術支援」
GOA2.5 自動運転システム実用化支援グループ 14名
太田 佑貴、平栗 滋人、中澤 伸一、新井 英樹、会田 直矢、進藤 卓朗、
藤田 浩由、北野 隆康、鈴木 浩明、佐藤 文紀、斎藤 綾乃、中井 一馬、
山本 貴光、狩野 泰

□研究開発成果褒賞

「360km/hに対応した光切断式トロリ線摩耗計測システム」
薄 広歩、松村 周

「列車前方監視AIによる判断ミス時の要因推定手法」
合田 航、影山 椋、前田 梨帆、長峯 望

「トンネル壁面画像を用いた検査支援システム」
仲山 貴司、三輪 陽彦、大原 勇、清水 達貴

「洗掘被災橋梁の緊急診断法」
佐名川 太亮、小松 灯、横山 大智、中島 進

□業務成果褒賞

「早期地震防災システム構築および表示用地震計更新」

早期地震防災システム構築および表示用地震計更新グループ 10名

佐藤 新二、薄 哲夫、岩田 直泰、小林 俊之、是永 将宏、佐溝 昌彦、
中澤 和徳、相楽 彰久、酒井 孝英、加藤 麻美

「北陸新幹線延伸開業に向けた試験・評価業務」

北陸新幹線諸試験・評価グループ 30名

中村 琢、野口 芳直、赤木 雅陽、森田 岳、堀 晃徳、緒方 隆充、
嶋田 章宏、常本 瑞樹、及川 祐也、大高 亮輔、松尾 淳史、高橋 貴蔵、
澗上 翔太、田中 博文、清水 惇、斉藤 大樹、弟子丸 将、鎌田 慈、
佐藤 亮太、辻 滉樹、浦越 拓野、河村 祥一、久河 竜也、松岡 弘大、
服部 紘司、加藤 佳仁、山岡 大樹、川越 健、金色 貴史、佐藤 弘規

「電車線金具の破損原因究明と対策提案」

小原 拓也、山下 主税、根本 公紀、金色 貴史

「電車線支持物の損傷原因調査と対策提案」

電車線支持物の損傷原因調査グループ 10名

早坂 高雅、常本 瑞樹、上原 元樹、西尾 壮平、山崎 由紀、佐藤 丘郭、
半田 和行、兼松 義一、尾崎 稜、高橋 勇人、

「鉄道構造物等設計標準・同解説（鋼・合成構造物）の改訂」

設計標準（鋼・合成構造物）改訂グループ 18名

小林 裕介、吉田 善紀、笹田 航平、増田 雄輔、三宅 温、佐名川 太亮、
池田 学、櫛谷 拓馬、杉本 一朗、岡本 大、上山 裕太、向井 天、
亀井 省吾、井上 太郎、八幡 太一、田中 活行、二宮 僚、渡邊 友崇、

「人事労務制度整備に対する長年の顕著な貢献」

小峰 隆之

□研究開発奨励賞

「折返し駅と車両基地の整備作業ダイヤ自動作成手法の開発」

小久保 達也

「大変形領域を考慮したセグメント継手のモデル化手法の開発」

木下 果穂

「確率論的地盤強度評価による盛土の施工管理法の開発」

笠原 康平

「交換可能な衝撃吸収構造の開発」

永田 恵輔